



安道よし子の一般質問

少人数学級で行き届く教育を

いじめを背景とする痛ましい事件が続き社会問題になっています。子どもたち一人ひとりが大切にされる教育が、いま、求められています。

私は、教員の多忙化や教育環境の実態を明らかにし、行き届く教育のために対策を求めました。

管理職まで大変な評価制度

私が「教員評価制度」は、教員の目が子どもではなく管理職に向き、「いじめ」などの問題解決にはマイナスと指摘すると、教育長は、「教員評価制度は教員の資質向上・学校の教育力向上に有効」と答えたものの、「全教員と面談し評価のために、膨大な報告書を作成する管理職は最も大変」とも答弁。

管理職まで膨大な報告書の作成に悩まされている制度が子どものためになるとは思えません。評価制度によって起きている教育現場の大変な実態を報告し、見直しを求めるべきです。

私は、学習指導要領の改定による影響についても質問しました。

子どもと向き合う時間がほしい

年間の総授業数は小学校で285時間、中学校で185時間増加し、小学校高学年の下校は午後4時頃。中学生は、部活を終え帰宅するのが6時ごろ。

教材研究や学年会などの仕事を終え教員が退庁するのは、午後7時・8時が当たり前とのこと。子どもたちと向き合う時間の確保も難しい教員の多忙ぶりは異常。改善を図るべきです。

一人ひとりに指導が行き届くためには30人程度の少人数学級が望まれます。市内には20数人～30人程度の学級がある一方、40人定数いっぱいの学級もみ



られます。教育長は、少人数学級の教育効果を認め国、県に拡充を要請すると答えました。

日本の教育予算はOECD31カ国で最低

《教育機関への公的支出割合の比較》

- ・デンマーク (7.5%)
- ・アイスランド (7.3%)
- ・スウェーデン (6.6%)
- ・OECD平均 (5.4%)
- ・日本 (3.6%)

《教員の労働時間》

- ・日本の教員の労働時間はOECD平均より200時間多
- ※劣悪な教育環境OECD調査から (しんぶん赤旗より)



いつもはつらつ

あんどう

安道よし子の

No. 29
2012年 秋号

市議会通信



日本共産党市議会議員

朝夕の肌寒さに秋の気配を感じるこの頃。

消費税増税、原発ゼロの閣議決定見送り、オスプレイの配備強行など、国民の声に背を向ける政治が続いています。

今こそ、住民の願いに寄り添う政治が求められます。みなさんと力を合わせ「市民が主人公」の市政めざし頑張ります。



食品放射線測定機器が整備

保護者の声に応え給食食材検査にも対応

食品の放射線量測定機器が10月末から11月には整備される見込みです。一般質問で消費者庁補助事業の活用をこれまで求めてきましたが、担当課の努力もあり、市民要望が実ります。給食の丁寧な検査を求める請願が提出されたことから、市民の不安を取り除くために



食品放射線量測定機器

は検査の充実が必要です。

食品検査の利用は無料で

私は、給食の検査も含めて測定機器の有効活用を提案しました。

検査機器は、庁舎1階の消費相談室に設置予定で担当も同室になります。

食品・飲料水の検査が可能で、検査料は無料。測定時間は20分程度。学校給食の検査にも対応する方向です。

みなさんの声を届けて働きます

安道よし子の連絡先 駅で宣伝してます。声をかけて下さい。
電話・Fax 04(2962)8082 携帯 090(4811)0553

1500人あまりの陳情・請願

第3回定例議会

給食放射能検査の願い趣旨採択に

市から提出された議案のうち、共産党は「西部消防組合の設立に伴う関係条例の整理に関する条例」のみに反対しました。

消防広域化は、藤沢分署のはしご車が削減されるなど地域の消防力を低下させるとともに入間市の財政負担が増加することが明らかになっています。

給食検査の充実で安全を

今議会には、「入間市の学校給食を放射能から守るための施策に関する請願」が提出され、同趣旨の陳情書も「子どもを守る会いるま」から1500人余りの署名を添えて提出されました。

学校給食センターで調理される中学校



学校給食センター

一週間分をまとめて放射能検査している給食センターの給食と同じように、自校給食でも検査の充実が求められる。

の給食は、一週間分を、県の調査機関に委託して週に一度調べていますが、自校給食式の小学校では一食材の検査にとどまっています。こうした状況に市内の保護者から、学校給食の検査の充実を求める声が高まっています。この声を反映して「学校給食をもっとしっかり検査して欲しい」等の項目を掲げた請願です。

共産党からは石田よしお議員、吉沢かつら議員が紹介議員となり、福祉教育常任委員会で審議されました。

共産党は請願採択を主張

この請願に対し、保守系クラブが、「現状の調査で安全性は確保されている」

との立場から、実効性を弱める趣旨採択を提案しました。

共産党市議団は、市民の要望に応え、安道よしこ議員が請願に賛成の討論を行い、採択に力を尽くしました。しかし、他党派は請願採択に反対し趣旨採択にしました。

共産党市議団は、これまでも子どもの食の安全を確保する立場から、給食食材の放射能検査の充実を議会で求めてきました。

今後も市民と協力し、子どもの健康を守るため給食検査の充実を求めます。



共産党市議団が市民の声を積極的に提案

墜落事故を繰り返しているオスプレイの配備で、横田基地空域にある入間市が危険に。「オスプレイ配備反対の意見書」を提案しましたが、全会派の合意は得られませんでした。

市民要望の強い「子ども医療費(通院)の中学卒業までの無料化促進を求める決議」も提案。保守系会派の賛成は得られたものの、公明党とみらい市民クラブの反対で決議の提案は実現しませんでした。

決算審査意見に10項目提案し採択

- ・河川の放射能汚染調査結果もHP公表
- ・清掃デー不参加者への負担金廃止を
- ・道路整備は市民要望に応え予算措置を
- ・昭和56年以前の木造住宅耐震化の実施
- ・武蔵藤沢駅ロータリーの渋滞対策を
- ・子ども医療費は通院も中卒まで無料に
- ・夜間診療所は開所時間の拡大を
- ・教室にエアコン設置・少人数学級実現
- ・地域包括支援センターの職員増員を

消費増税なしで別の道

日本共産党は消費税増税に反対するだけでなく、別の道で財源を確保する具体的な対案を示しています。

不要不急の大型公共事業の見直し、米軍への「思いやり」予算や政党助成金の廃止など聖域のないムダ削減で3.5兆円、お金をため込んでいる大企業や富裕層への増税で8~11兆円を確保することができます。

増税実施までの1年半の間に行われる総選挙、参議院選挙で国民が「増税ノー」の審判を下せば増税をやめさせることができます。国民の世論と力で消費税をストップさせましょう。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

核廃絶署名、戦後の近隣飛行機事故

小出わたる議員

消費税増税反対、教室にエアコンを

安道よし子議員

少人数学級実現、放射能検査機器整備

吉沢かつら議員

子どもの権利条例制定、磁気ループ

日本共産党市議会報告

2012年11月

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883